

ねりまつうしん

ねんはるごう
2025年春号

た げん ご じょうほう し えんいん えいごたんとう
多言語 情報支援員(英語担当)

むらき なおこ
村木 直子

ひなまつり

がつ ちか だんじょ にほんにんぎょう かざ み
3月が近づくと男女の日本人形が飾られているのを見かけるようになります。
かざ がつみっか おんな
「ひな飾り」といって、3月3日のひなまつりのためのものです。ひなまつりは女の
こ ぎょうじ にんぎょう ほか もも はな しろざけ かざ けんこう
子のための行事で、ひな人形の他にも、桃の花・白酒¹などを飾り、女の子の健康と
しあわ ねが
幸せを願います

1 ひなまつりのはじまり

ゆらい ねんごろ ちゅうごく がつ はじ きせつ か め わざわ
由来は300年頃の中 国にあるようです。3月の始めは季節の変わり目で、災い
さいがい ふこう わる き はい かわ うみ
(災害などの不幸なこと)をもたらす悪い気が入りやすいため、川や海のそばでそれ
お はら しゅうかん ねんいじょうまえ にほん はい
らを追い払う習慣があったそうです。それが1000年以上前の日本に入ってきました。
ひと わざわ ひ う にんぎょう つく うみ かわ なが ぎょうじ
人の災いを引き受ける人形を作り、それを海や川に流していました。その行事が
にんぎょう かざ か いま じだい つづ
人形を飾るものになり、今の時代にも続いています。
ゆらい かざ とうじつ た い み
この由来から、飾りや当日に食べるものにも意味があ
もも はな かざ もも き じゃき ひと がい
ります。桃の花が飾られるのは、桃の木は邪気(人に害
あた き と のぞ しんせい き
を与える気)を取り除く神聖な木とされていたからです。
しろざけ もも はな ひた さけ
白酒も、もともと桃の花を浸したお酒でした。



¹ しろざけ しろ にご さけ
¹ 白酒：白く濁ったお酒。ひなまつりの際に楽しめるもので、中国発症の白酒とは違うもの。

2 ひな飾りはなぜ男女の人形なのでしょう？

ひな飾りの多くは男女一対の人形で、結婚式を表わしていると言われています。

衣装は平安時代（1000年以上前の日本）の貴族が着ていた伝統的な着物です。これらの衣装は今でも皇室の方々の結婚の際に使われています。「幸せな結婚ができますように」との願いが込められているのです。

この願いを表す習慣が今もいくつか残っています。

その一つはハマグリ（貝の一種）です。この時期にはスーパーマーケット等で沢山のハマグリが売られていて、お吸い物²で出されます。ハマグリは2枚貝で、1枚ずつに分けると別の貝殻とは絶対に合いません。元からついていた貝殻としか対にならないのです。「自分の性格と合った結婚相手が見つかるように」との願いが込められています。

また、ひな飾りは早めに出し、3月3日が終わったらすぐに仕舞うものとされています。これは、結婚するのが当たり前だった時代の考えを表しています。「ひな人形を早く（仕舞っていた場所から）出す」ということは「娘を早く嫁に出す（家から出す）」、つまり「娘が早く結婚できる」ということになります。また、「ひな人形を早く片付ける」というのも「娘が早く片付く（良い場所に落ち着く）」つまり「娘が早く結婚できる」ということになります。「早く結婚して幸せになってほしい」という意味が込められています。

私にも娘がいて、ひな人形を飾っていました。忙しい時にうっかり片付けるのを忘れて慌てたこともあります。数十年も前の話ですが、その時期はちょうどこの結婚に対する考え方が変わってきたようにも思います。友人たちの間では「娘は



² お吸い物：だし汁に塩や醤油で味付けし、具材に魚介類や野菜等が入ったもの

あまり早く結婚してほしくないから、おひな様もずっと出しておくわ」という人もいたくらいです。

こうした習慣やひな飾りの形態も、これからは時代とともに変わっていくかもしれません。

3 様々なひな飾り

ひな飾りの種類も沢山あります。中でもよく見かけるものには2種類あり、一方は「段飾り」と呼ばれています。階段状になった7つもの段の上にお付きの人や結婚する時に持って行く道具（鏡台³など）を飾る豪華なものです。もう一つは「平飾り」で、男女一対のお内裏様とおひな様だけのものです。家が狭い都心では小さな平飾りが人気のようです。

私が生まれたのは50年以上前ですが、両親は田舎から出てきて東京での生活を始めたばかりでした。ひな飾りを買う余裕はなく、それでも私の誕生を喜んで小さな日本人形を買って飾ってくれていました。結婚して実家を出てからすっかり忘れていましたが、その人形は50年以上も実家にとってありました。今は両親も亡くなりましたが、なかなか捨てられずに、最近やっと思い切って捨てました。

旧家（何代も続く歴史のある家族）では立派な7段飾りが代々受け継がれます。古くから伝わるひな飾りを一般の人々に見せるイベントも、ひな祭りの季節にはあちこちで行われます。

吊るし雛（段に並べるのではなく、糸で上からいくつかの人形をつるして飾るもの）など、その地方ならではのユニークなひな飾りもあります。

この号が発行される時期にはひな祭りは終わっているかもしれませんが、ひな祭りの季節になったら思い出して、立ち寄ってみてください。

³ 鏡台：顔や姿を映すための、鏡を取り付けた台。

じぎょうすいしんがかり 事業推進係からのお知らせ

ぶんかこうりゅう ＜文化交流ひろば情報コーナーをご利用ください＞

にほんごがくしゅう じょうほう がいこくじん せいかつじょうほう たげんご ていきょう
日本語学習の情報や外国人のための生活情報などを多言語により提供します。

ばしょ ねりま くひかり おか
【場所】 練馬区光が丘3-1-1

でんわ
【電話】 03-3975-1252

かいせつにちじ へいじつ ごぜん じ ごご じ ど にち しゅく ごご じ じ
【開設日時】 平日（午前10時～午後1時）、土・日・祝（午後1時～4時）

ねんまつねんし ぶんかこうりゅう きゅうかんび のぞ
※年末年始など「文化交流ひろば」休館日を除く

たいおうげんご えいご か もく ど ちゅうごくご すい きん にち かんこくご げつ
【対応言語】 英語（火・木・土）、中国語（水・金・日）、韓国語（月）

※その他の言語はお問い合わせください。

がいこくごそうだんまどぐち りょう ＜外国語相談窓口をご利用ください＞

ちいきしんこうかじぎょうすいしんがかり えいご ちゅうごくご かんこくご たがろくご にほんご
地域振興課事業推進係では、英語・中国語・韓国語・タガログ語・日本語でい
ろんな相談ができます。電話での相談も受け付けます。

ばしょ ちいきしんこうか くやくしよほんちやうしゃ かい ねりまくとよたまきた
【場所】 地域振興課（区役所本庁舎9階） 練馬区豊玉北6-12-1

でんわ
【電話】 03-5984-4333

かいせつにちじ へいじつ ごご じ じ
【開設日時】 平日（午後1時～5時）

たいおうげんご えいご げつ きん ちゅうごくご げつ きん かんこくご きん たがろくご げつ
【対応言語】 英語：月～金、中国語：月～金、韓国語：金、タガログ語：月

※その他の言語はお問い合わせください。

にほんじん がいこくじん こうりゅう いべんと かいさい くわ ＜日本人と外国人が交流できるイベントなどを開催しています。詳しくはこちら＞

くこうしき
【区公式HP】 <https://www.city.nerima.tokyo.jp/gaikokunohitomuke/bunka.html>

コード
【QRコード】


ねりまうちいきしんこうかじぎょうすいしんがかり
練馬区地域振興課事業推進係

〒176-8501

ねりまくとよたまきた
練馬区豊玉北6-12-1

ねりまぐやくしよほんちやうしゃ かい
練馬区役所本庁舎9階

でんわ
電話03（5984）4333

e-mail: CHIIKI17@city.nerima.tokyo.jp

へんしゅう ぶんかこうりゅう
編集：文化交流ひろば

ひかり おか

（光が丘3-1-1）

たげんごじょうほうしえんいん
多言語情報支援員

むらき なおこ えいごたんとう
村木 直子（英語担当）

かとう けい ちゅうごくごたんとう
加藤 慧（中国語担当）

そ きすく かんこくごたんとう
徐 基淑（韓国語担当）